

令和 4 年

第 4 回（1 2 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	6 番 岡 村 達 馬 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 新幹線開業と波佐見あちこち陶器まつりについて</b></p> <p>西九州新幹線が開業し、JRは順調との見解を示している。新幹線が波佐見町に及ぼしている影響と、秋のあちこち陶器まつりの成果について次のことを問う。</p> <p>(1) 佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンが大々的に行われているが、本町はどの様なかたちでキャンペーンに参加しているのか。</p> <p>(2) 新幹線開業による観光客あるいは宿泊客について、手ごたえをどう感じているのか。</p> <p>(3) 新幹線開業にも合わせたかたちで本町でもあちこち陶器まつりが開催されているが、昨年より人出が多いように感じる。</p> <p>来客数は把握しているか。</p> <p><b>2. 令和3年災害復旧事業について</b></p> <p>公共土木災及び農林災ともに災害復旧事業が急ピッチで進められている。</p> <p>(1) 全体事業費や工事箇所数はどうなっているか。また、進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 未落札や資材高騰といった問題等への対策は。</p> <p><b>3. 西ノ原土地区画整理事業について</b></p> <p>事業認可期間が10年延びた。また、本事業に携わる職員が一人から三人体制になり、事業推進に勢いがつくと思われる。</p> <p>(1) 現在の状況をどう思っているか、率直な意見を伺いたい。</p> <p>(2) 見直しアンケートが実施されたが、その目的と活用は。</p> <p>(3) 今後10年間どういった計画となるのかを、事業主体として地区関係者に具体的に示すべきと考えるがどうか。</p>		

通告順位	2	通告者	9番 横山聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p style="text-align: center;"><b>不登校やひきこもりの児童生徒の可能性を活かせる教育について</b></p> <p>「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(以下「教育機会確保法」という。)が制定され6年が経つ。本町の不登校やひきこもりの児童生徒は微増傾向にあるが、そのような児童生徒の可能性の芽を摘むことのない、一人ひとりにあった支援体制の構築が必要と考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 不登校やひきこもりの児童生徒の主な原因の把握はできているか。</p> <p>(2) 現在、スクールカウンセラー1人とスクールソーシャルワーカー2人が配置されているが、加配の必要性はないか。</p> <p>(3) 不登校やひきこもりの児童生徒に対する学力の支援体制はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 不登校やひきこもりの児童生徒の保護者への支援はどのようになっているのか。</p>		

通告順位	3	通告者	5番 田添有喜 議員
質問事項及び旨	<p><b>1. 農業振興について</b></p> <p>「儲かる農業」が提言され、農家では様々な工夫が行われている。しかし、現実には、台風被害や物価高騰、鳥獣被害、水不足などが原因となり営農意欲の減退にもなっている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 町内に存在する「ため池」の数は。また、老朽している「ため池」の数は。</p> <p>(2) 災害防止対策としての老朽化が進む「ため池」の改修計画は。</p> <p>(3) イノシシ等による農作物への被害対策は、今後どのような計画があるのか。</p> <p><b>2. 教育行政について</b></p> <p>コロナ禍にあって、子供たちを取り巻く環境は大きく変化している。また、教職員の働き方改革が進む中、子供たち一人ひとりが楽しく学べる教育環境づくりはとても重要な課題である。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 令和4年度の全国学力・学習状況調査における本町の結果と課題は。</p> <p>(2) 働き方改革が進む中、本町ではどのような点で改革が進んでいるのか。</p> <p>(3) 町内小中学校における「いじめ」の実態は。</p> <p>(4) 道徳の時間が「特別の教科」と位置づけられたが、本町の指導の実態は。</p> <p>(5) 令和4年10月末に文部科学省は、全国の不登校の件数を発表した。本町の実態は。</p> <p>(6) 不登校及び不登校傾向にある子どもたちへの指導の実際は。</p> <p>(7) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の役割と任用方法は。</p>		

通告順位	4	通告者	11番 北村清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 災害時における避難所のインフラ整備について</b></p> <p>(1) 災害対策基本法第86条の6に「避難所に滞在する被災者の生活環境の整備に必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とあるが、本町の整備状況はどうか。</p> <p>(2) 避難の長期化で避難所の自家発電設備や非常用発電機等の備蓄及びトイレ等の生活用水の確保はどうか。</p> <p>(3) 避難所内の感染症の予防や衛生環境の整備はどうか。</p> <p><b>2. 職員の職場環境について</b></p> <p>人口減少による人材争奪戦が始まっており、本町の新規職員採用も厳しい現状である。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) この現状を踏まえ、現職員のスキルアップとリスクリングの必要性を考えるべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 職員のモチベーションを高めるためには何が必要と思うか。</p> <p>(3) 新人事評価基準はどう変わるのか。</p>		

通告順位	5	通告者	4番 岡村真由美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>公の施設の指定管理者制度について</b></p> <p>9月定例会において「波佐見町公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例」が可決されたが、既に伝習館は「波佐見町陶芸の里伝習館の設置及び管理に関する条例」に基づき、中尾郷自治会を指定管理者とし運営されている。</p> <p>(1) 本条例は平成8年に制定された同条例を平成17年に全面改定したもの、とある。</p> <p>全面改定に至った経緯は。</p> <p>(2) 平成8年4月号「広報はさみ」には、3月議会で「陶芸の里伝習館・交流館の設置及び管理に関する条例」が審議され可決された、とある。</p> <p>交流館の管理はどうなっているのか。</p> <p>(3) 今後、指定管理者による管理が考えられる施設として、8つ挙げられた。</p> <p>その8つの施設の名称は。</p> <p>(4) 昨年12月議会で財産の取得が可決された土地及び建物についてはどうか。</p> <p>8つの施設と同様、設置及び管理に関する条例は制定されていないが、それぞれ何に基づいて管理運営されているのか。</p> <p>(5) 伝習館の使用料改定についての審議で、当初の目的を変え収益が見込める施設としたいという説明があった。同条例の第2条も変える必要があるのではないか。</p>		

通告順位	6	通告者	3番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 物価高騰対策支援事業について</b></p> <p>新型コロナウイルス流行の第8波に入ったとの見方が広がり、年末年始のさらなる感染拡大やインフルエンザとの同時流行も懸念されている。そのような中、本町でも原油価格情勢や物価高騰の影響を受けており、対策として燃料費等や保育施設・副食費等、また、農業資材価格に対する支援事業の活用計画がある。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) これまでの支援事業は、対象が事業者や農業関係者、また、保育施設等と限定したものであるが、町民も家計における経済負担は大きく増しており、かなりの影響を受けている。町民に対しても負担軽減を目的にした公正公平な物価高騰対策の支援ができないか。</p> <p>(2) 他の自治体で、物価高騰対策としてプレミアム付き商品券発行支援費補助金を各商店街や各業界団体等に支援制度がある。本町でも施策として取り組み活用できないか。</p> <p><b>2. 新庁舎建設について</b></p> <p>1年後の完成を目標に、計画通りに新庁舎建設が進んでいる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 庁舎の移転に向け、新庁舎建設事業としての備品購入の計画は。</p> <p>(2) 新庁舎への移転後、既存庁舎新館（現議会棟）の利活用の予定や計画は。</p> <p>(3) 庁舎前町道鹿山飛瀬線と接道する県道出入口交差点への信号機新規設置や、庁舎以外での付近の整備計画は。</p> <p><b>3. 副町長の選任について</b></p> <p>町長は、前回定例会の同僚議員の副町長選任についての一般質問で早く選任したいと答弁された。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>令和5年度の予算編成や本町の第6次総合計画の策定、また新庁舎建設など様々な行政事務が多く控えている中、現在の副町長選任についての進捗は。</p>		

通告順位	7	通告者	12番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 令和5年度当初予算の編成について</b></p> <p>町長には、就任後初の当初予算編成となるが、重点事項等について次のことを問う。</p> <p>(1) 公約の「私がやることリスト」にある事業の予算計上の有無と重点事項は。</p> <p>(2) 今後の財政見通しは。</p> <p><b>2. 桜づつみの整備について</b></p> <p>桜づつみは、多くの人々がウオーキング等で利用されている。愛護団体による堤防の草刈りや歩道の再舗装が施工されているが、今後の整備について次のことを問う。</p> <p>(1) 愛護団体に委託している除草作業の課題と対策は。</p> <p>(2) 大木・高木となっているツツジ等の剪定状況と計画は。</p> <p>(3) 歩道に繁茂している雑草の除草状況は。</p> <p>(4) 桜のオーナーの応募状況は。</p> <p>(5) 堤防の斜面に管理しやすい彼岸花等の植え付けはできないか。</p> <p><b>3. 役場新館及び旧町公民館の今後の利用について</b></p> <p>(1) 新庁舎は来年秋には完成予定である。それに伴い現新館の再活用が必要であるが、計画はどうか。</p> <p>(2) 現在、旧町公民館はシルバー人材センター事務所として利用されているが、老朽化が著しい。</p> <p>同館及びシルバー人材センター事務所は今後どうするのか。</p>		



通告順位	8	通告者	8番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. イノシシなどの害獣被害抑制策について</b></p> <p>今年度、イノシシなどの有害駆除頭数は昨年度実績を上回る勢いである。</p> <p>ワイヤーメッシュについても張り替えの時期を迎えているが、耕作放棄地が増加し、害獣からの安全確保のためにも有害駆除だけではない総合的な対策が急務である。</p> <p>(1) 非農地における害獣対策の検討状況は。</p> <p>(2) 既設ワイヤーメッシュの更新と新設架設地域の現状及び選定基準は。</p> <p><b>2. 町外から移住する高校生及び就労者への居住支援について</b></p> <p>令和3年度から町の波佐見高校支援が行われ、入学希望者の増加など一定の成果が得られている。</p> <p>来年度、遠地の中学校からの入学希望者も見込まれ、寄宿寮などのニーズはさらに高まっている。</p> <p>また、町内事業所への新規就労者採用に際して、居住地の確保は大きな課題である。</p> <p>(1) 町内事業所への新規就労者及び波佐見高校生のために、寄宿施設を整備する考えはないか。</p> <p>(2) 寄宿生支援及び町内事業者との連携などを担う、波佐見高校と町との関係を強化するための地域おこし協力隊などの採用は考えられないか。</p> <p><b>3. 小中学校におけるタブレットの活用状況について</b></p> <p>G I G Aスクール構想により、小中学校にて1人1台のタブレット配布が行われ、様々な授業に加えて家庭学習においても広範囲に活用されている。</p> <p>(1) 学校の授業及び家庭学習におけるタブレット使用状況は。</p> <p>(2) タブレット依存にならないための対策は行なっているか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	1 0 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 総合文化会館について</b></p> <p>(1) 各会議室の利用状況と稼働率はどうか。(小ホールを含む)</p> <p>(2) 文化団体の利用の割合はどうか。</p> <p>(3) 図書館の利用状況はどうか。</p> <p>(4) 蔵書はどれくらいか。</p> <p>(5) 学習スペースの拡充はどうか。</p> <p><b>2. 新庁舎建設に伴う各施設の活用について</b></p> <p>(1) 新庁舎における会議室はどのような計画か。</p> <p>(2) 現在の教育委員会の業務は総合文化会館内で行われているが、移転後はどのような利用計画か。</p> <p>(3) 町民の団体から利用に関する提案や要望はどうか。</p> <p><b>3. 文化活動（文化協会を含む）について</b></p> <p>(1) 文化活動の現状はどうか。</p> <p>(2) 現在の支援のあり方はどうか。</p>		